

さくらおろち湖シンポジウム通信

島根県雲南市と奥出雲町にまたがる、尾原ダム・さくらおろち湖周辺の地域の自然とそこに暮らす人の営みを元気なものにしていくNPOの情報発信紙です。

第45号

発行所VNPPO法人さくらおろち湖
〒699-1134
雲南市木次町平田七七九-1
☎0854-480729

「田舎が都会を支えるために」 それってどういうこと?

来る2月8日(日)、奥出雲町の布勢コミュニティセンターで、さくらおろち湖シンポジウムを開催します。

時間は午後2時から5時まで。参加費は無料。基調講演のテーマがこれ、右の一行なのです。地域を再発見してみようという趣旨の会なのですが、田舎と都会の関係を見直すおもしろい機会かも!

▼シンポジウムは、さくらおろち湖田舎ツーリズム協議会とNPO法人さくらおろち湖との共催です。昨年度から農林水産省の都市農村共生・対流総合対策交付金の採択を受け農家民泊を中心

としたグリーンツーリズムの取り組みを進めてきていますが、その事業のひとつとして開催します。

▼パネルディスカッションではそれぞれに「食」や「泊」を通じてのもてなしや交流にはげんでおられる方々。ならではの着想や元気が得られるでしょう。

▼昨年は地域プロデューサーとして活躍されている尾道の本東

千恵さんに「あなたが変れば地域が変わる」と題して、住んでいる土地を愛する気持ちを素直に声に出していくこと、個人が主体として出ていくことの大切さを、体験をまじえて講演いただきました。またパネルディスカッションでは隣の地区の活動内容ではじめて知ることの発見も多かったようで、意義あるものになりました。

▼今年も小さな会場で密度の濃い話と意見が交わされるよう準備にはげんでいます。ご参加のほど宜しくお願い致します。

さくらおろち湖シンポジウム2015

基調講演 島根大学経済学専攻 作野広和

田舎が都会を支えるために
地域力を高める処方箋

パネルディスカッション
わたしの宝、地域の宝

2/8(日) 十四時~十七時 参加無料

会場 奥出雲町布勢コミュニティセンター (鳥取県雲南市木次町平田779-1 ☎0854-480729)

主催 奥出雲町、NPO法人さくらおろち湖、島根県雲南市木次町平田779-1 ☎0854-480729

後援 雲南市、奥出雲町

講演者: 三成由美、宇田川光好、高野明美、山本博子

▲どなたでもご参加できます。お申込み、お問合せは、さくらおろち事務局まで。奥出雲町、雲南市内へは、音声告知放送で改めてご案内致します。



▲都会の人らが憧れる美しい「田舎」の山河。その「資源を活かす」という言い方をよくしますが、誰かが、見えないところで支えていること、途絶えようとしては継いでいき、維持できていることを、忘れないように、忘れさせないようにしたいと思います。

【豆コラム】奥出雲町では、平成27年4月1日から町嘱託職員として受け入れる「奥出雲町地域おこし協力隊」を募集しますが、応募検討の方へは、右のシンポジウム参加と地域訪問が役に立つと思います。

でらびる

年末からこの1月中旬にかけては多くのイベントを行いました。12月21日には、「川と湖の幸をいただく」食べごと塾。斐伊川でとれた鯉、鰻、鮎、鮎を調理しました。1月11日には同じく食べごと塾で「巨大とんとさんと山海の幸」。1月10日には竹林整備研修として「奥出雲タケヤマ開拓2014」。1月17日に「山の木を宝に変える」里山ボランティア。1月17日、18日には農家民泊のモニターツアー。とても書ききれませんが……の



▶農家民泊モニターツアーの一場面。尾原地域づくり支援センターにて。

で、様子は、ウェブサイトに「さくらおろち湖周辺を100%楽しむ」などでご覧いただければ幸いです。

2月の行事案内

◎さくらおろち湖シンポジウム
表面に記事掲載しています。

基調講演は島根大学の作野教授から「田舎が都会を支えるために地域力を高める処方箋」と題してお話いただきます。2月8日(日)午後2時〜布勢コミュニティセンターにて。
◎星降る里山暮らし体験
雲南・奥出雲への移住に関心のある方を対象とした、大阪発着のバスツアーです。2月20日(金)からの泊3日で、料金

はひとり1万8000円です。
◎水はどこからくるのか展(仮題)
2月9日(月)〜15日(日)に松江市立中央図書館、つづいて2月16日(月)〜20日(金)に県民会館プロムナードギャラリーで開催し、布勢小学校児童の絵の展示や、田井小学校で行った「みずのたんけん隊」の模様をまじえ、水源地域の姿と人の思いを伝える展示をめざします。

会員募集

私たち「NPO法人さくらおろち」は、尾原ダム周辺の自然や文化、新たにできた施設など地域資源を活かし、様々なイベントや活動に取り組んでいます。また、地域の方々とともに妻伊川水系の上流域を拠点とする団体として、流域圏における交流と絆づくりを進めているところですが、当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員を募集しています。正会員▽当法人の総会において議決権を持ちます/入会金1000円・年会費2000円。賛助会員▽活動を財政面から支えてくださる会員です/入会金1000円・年会費1000円。▼ご入会のお手続きについてはNPO法人さくらおろち事務局までお問い合わせください▼
〒699-1134 雲南市木次町平田779-1
次町平田779-1-0085
4-48-0729
▼E-mail sakura-o@bs.kkm.ne.jp



しまね暮らし体験プログラム

星降る里山暮らし体験

古民家の夜
2泊3日
2015年2/20(金)~2/22(日)

「食べごと塾」は、食をとおして人と人をつなぐ活動です。その源がここにはあります。40坪あまりの敷地に築かれた民家。水たまりや苔むした石が、静かに語りかけてきます。

星降る里山暮らし体験
古民家の夜
2泊3日
2015年2/20(金)~2/22(日)

鳥根町 雲南市・奥出雲町

- ◎プログラム内容①鳥根県雲南市の農山村へ移住した方のお宅訪問と意見交換会、②茅葺き古民家で地元の方との交流会・夜の星空と焚き火、③社のパン屋さんのカンパニーで朝食、④古民家カフェで玄米と野菜のオーガニックなランチ、⑤農家民泊体験(各農家ごとのメニューあり)⑥冬の里山散歩で、アニマルトラッキングや冬芽探しなど。

本事業は公益財団法人ふるさとしまね居住財団の助成事業の採択を受けています。

体験について ▶ NPO法人さくらおろち TEL&FAX: 0854-48-0729
E-mail: sakura-o@bs.kkm.ne.jp